

①より効率的で持続可能な委員会・事業部会体制の構築に資するため、現状の委員会・事業部会等の組織内の位置付け、役割、構成メンバー等の情報を製理して表示する。佐々木副会長が中心となって実施。少なくとも各委員会の委員長・委員案について6月22日までに作成し、臨時理事会で承認を得る。

②上記確定したメンバーで、必要に応じて委員会構成の変更などの提案をして頂き、9月理事会で承認を得ることを目指す。

③委員長・委員が不在で長期にわたり活動実績がない委員会などについては、一旦廃止することを執行理事会から9月理事会で提案する。

3. 代替企画について（星）

①9月13日（日）PM 各賞受賞講演・コメントのWeb配信を実施する (youtube?)

②ショートコース(Zoom利用) 最新知見の概観を紹介

・半日/コース。土日祝のAM,PMで計4コースをライブで実施

・CPDの付与を行う。講義は1時間単位。1コース3時間まで

・講師に謝金を出す。受講料を徴収。定員(100名?)を超えたら募集締切(会員優先)

・2コースについて専門部会で提案し、さらにWeb講義に長けた演者を選

・2コースについては学際的テーマを執行理事会から提案

③支部単位での学術発表会やシンポジウム等を出来る範囲でやって頂くようお願いする

・若手の発表機会を確保とCPD付与が趣旨

・必要に応じて本部から財政補助を行う

4. 2021年度大会の日程について（星）

第1候補は9月22日（水）～24日（金）(23日は秋分の日)

第2候補は9月8日（水）～10日（金）

LOCは潮位の関係（師崎巡検）からこの日程を希望しているが、執行理事会としては、山口大会同様、土日祝での開始をLOCにお願いすることとした。

5. JpGUオンライン展示への出展について（緒方）

¥33,000（出店料）を払い出展することとした。iPosterでの展示。対応は広報委員会。

6. 屋久島たんけんマップの増刷について（小宮）

小修正を行い増刷（2,000部）を承認した。他のリーフレットも含めて、今後販路の拡大についての検討が必要ではないかとの意見があった。

7. 臨時理事会の日程及び審議事項の確認（7月11日、執行理事会12:30・理事会15:00-）

審議事項：名古屋大会中止に伴う代替企画について/組織再編に伴う委員会体制

9月理事会は対面実施（9月12日）を予定。

## II 報告事項

1. 全体的報告

・WRI-17(Water-Rock Interaction &

## 2020年度第1回執行理事会議事録

期 日：2020年6月13日（土）13:00～17:30

【WEB会議】

出席者：磯崎会長・佐々木副会長・平田副会長・中澤常務・岡田・大藤・亀高・坂口・ウォリス・小宮・松田・星・辻森・緒方・矢部・高嶋・狩野、[前年度執行理事]松田前会長・齋藤前常務・廣木・安藤（13:30退出）事務局 澤木

欠席者（委任状提出あり、カッコ内は委任者）：[前年度執行理事]西・田村（辻森）

\*定足数（12、委任状含む）に対し、出席者17名、委任状0名、合計17名の出席

\*前回議事録（19-13回）の確認 修正なし

### I 審議事項

1. 各部会、委員会の引き継ぎ

2. 組織再編に伴う委員会体制（佐々木）

Applied Isotope Geochemistry : 2021/8/3-8/7開催予定) (地質学会共催) は、COVID-19問題で、東京オリンピック延期に伴い、2022/7/31-8/4頃(仙台国際センター)に延期の予定。また組織委員交代は、松田前会長→磯崎会長に変更。

・学会事務局は、6月1日以降交代制でテレワークを実施している。事務所営業時間や電話対応は通常通り。

2. 運営財政部会:総務委員会(緒方・亀高)  
<共催・後援依頼、他団体の募集等>

・経済産業省産業標準化事業表彰公募(6/12締切)について、産総研地質調査総合センターを推薦した(推薦理由:地質JIS原案作成・制定・改正への貢献)。

・文部科学大臣表彰科学技術賞、若手科学者賞及び研究支援賞受賞候補者推薦依頼(7/22締切、学会締切7/1) →geo-flash, HP掲載。

<会員>

1) 今月の入会者(2名)

正会員(1名):中川 渉

正(院割)会員(1名):富岡優貴

2) 今月の退会者(正会員2名):上田修郎  
高橋美織

3) 今月の逝去者(2名)

名誉会員:鈴木堯士(逝去日2020年6月1日)

正会員:鈴木俊一(逝去日2020年4月15日)

4) 2020年5月末会員数

賛助:27, 名誉:44, 正会員:3381 [正会員:3297, 正(院割)会員:82, 正(学部割)会員:1], 合計:3452(昨年比-77)

<会計>

・2020年名古屋大会の演題登録システム(confit all)及び大会運営委託費について、大会中止決定までに発生したの経費を精算した。confit allの基本料金は満額請求(70万)となるが次年度大会利用時に60万円の値引が提示された。

・会計監査を6/22に実施予定。

3. 広報部会:広報委員会(坂口・小宮)

・NHK番組制作会社より取材協力(映像提供等)の依頼があり、会員個人として協力できる方をメルマガで呼びかけた。1名の会員から連絡があり、制作会社に紹介をした。

4. 学術研究部会(辻森・ウォリス・星)

1) 行事委員会(星)

・2020年度科研費の繰越を学術振興会に確認したが、現時点で来年9月への延期が決定しているため繰越申請は不可。8/28までに交付申請辞退の手続きを取る。来年度(2021年度)は改めて申請予定。

・2021年の名古屋大会の日程について、名古屋大会LOC及び産総研、名古屋市科学館、関連学協会と情報共有をし日程を調整中。

2) 専門部会連絡委員会(辻森)

特になし

3) 国際交流委員会(ウォリス)

・モンゴル地質学会とのMOU更新のため書

面を作成したが、新型コロナの影響により郵便の引受停止中(6/5現在)。再開され次第発送予定。

4. その他

特になし

5. 編集出版部会(大藤・狩野)

1) 地質学雑誌編集委員会(大藤)

・編集状況報告(6月10日現在)

2020年投稿論文:34 [内訳] 論説13(和文112・英文1), レター5(和文5), 総説1(和文1), ノート2(和文1, 英文1), 報告3(和文3), 口絵1(英文1), 巡検案内書8, 査読中:35, 受理済み:16(うち特集号8)

・126巻5月号(通常号)論説3編, 報告1編(59頁, 6/3発送済)。

・126巻6月号(通常号)論説2編, 報告2編(約50頁, 校正中)。

・126巻7月号(名古屋巡検案内書)案内書4編(約60頁, 入稿準備中)

・来年は巡検案内書の掲載がない分、原稿数の減少が予想される。加えて今後コロナによる投稿数減少も考慮して対策が必要ではないかとの意見があった。

2) アイランドアーク編集委員会(狩野)

・編集状況報告:現状の投稿状況やコロナによる投稿数への影響が危惧されていることなどが報告された。

3) 企画出版委員会(小宮)

屋久島たんけんマップ増刷について→審議事項へ

6. 社会貢献部会(松田・矢部・高嶋)

1) 地学教育委員会(高嶋)

・第17回高校生科学技術チャレンジ(JSEC2019)事業実施報告があった。なお事業実施後に上位入賞者を国際大会「Intel ISEF」に派遣しているが新型コロナの影響により国際大会は中止となった。

2) 地質技術者教育委員会(佐々木)

特になし

3) 生涯教育委員会(矢部)

特になし

4) その他

・地震火山子どもサマースクール(旧担当:星):学会より申し入れを行い、「地震火山地質子どもサマースクール」と名称が変更された。2020年度の浅間山ジオパークでの開催は、コロナの影響により2021度に延期となった。各学会の拠出金については、大会毎の拠出のため、すでに発生している下見費用を含めて2021年度大会用として最大20万円を地質学会(今年度予算)から拠出する予定。

7. ジオパーク支援委員会(平田)

・日本ジオパーク委員会からの世界ジオパーク申請事前机上審査(白山手取川ジオパーク)のレビュー選定委託について、地質学会から4名に審査を依頼し承諾された。

・日本国内ジオパーク再審査:2016年度に新規・再認定(10地域)、2018年度に条件付き再認定(1地域)

8. 地学オリンピック支援委員会(高嶋)  
特になし

9. 地質災害委員会(松田)

・防災学術連携体の窓口として、斎藤前常務理事に代わり、中澤常務が、前期に引き続き松田地質災害委員会委員長が担当する。

以上

2020年6月22日

一般社団法人日本地質学会執行理事会  
会長(代表理事)磯崎行雄  
署名人 執行理事 中澤 努

## 2020年度第2回理事会議事録

期日:2020年7月11日(土)12:30~14:50

【WEB会議】

出席者:磯崎会長・佐々木副会長・平田副会長・中澤常務・岡田・大藤・亀高・坂口・ウォリス・小宮・松田・星・辻森・矢部・高嶋・狩野

事務局 澤木

欠席者(委任状提出あり、カッコ内は委任者):緒方(磯崎)

\*定足数(12, 委任状含む)に対し、出席者16名, 委任状1名, 合計17名の出席

\*前回議事録(20-1回)の確認。一部修正のういで確定することで了承した。

### I 審議事項

1. 理事会審議事項と資料の確認

各審議事項の詳細について説明があり、内容を確認した。

1) 組織再編に伴う委員会体制(佐々木)

2) 名古屋大会中止に伴う代替企画について  
①表彰・記念講演(星)

②ショートコース(星)

③支部単位の学術発表会(平田)

④JABEE関係の資料の刊行と配信(佐々木)

⑤小・中・高「地学研究」発表会(デジタルポスター)(高嶋)

⑥地質系若者のためのキャリアビジョン誌(坂口)

2. 学術大会シンポジウムのあり方について(星)

学術大会のシンポジウムは、近年参加者が少なく、内容が一部の興味に偏っているのではないかと、会員全体が(一般公開の場合は市民)が広く問題意識を共有できる企画が本来ではないかとの問題提起があり、位置付け、決め方、時間的制約など全体の枠組みや技術的な面など様々な方向から問題点が挙げられた。2021年の名古屋大会に向けて継続審議とし、12月までにシンポジウムの企画を決める方針が示された。

3. 各賞選考委員会規則改正案の検討につい

て(磯崎)

各賞選考委員会が諮問する各賞選考検討委員会の委員選考方法について、役職指定の縛りを緩和して弾力的に委員を選考できる案が提案された。継続して審議し、9月理事会での規則改正を目指す。

#### 4. 地質学雑誌の活性化策(大藤)

地質学雑誌への投稿を増やすための方策が提案され、議論した。編集委員会より9月の執行理事会に投稿増加策および投稿編集出版規則改正案が提案される。

## II 報告事項

### 1. 全体的報告

・自然史学会連合主催講演会(12/6@北九州市立いのちのたび博物館)の開催可否に関する検討依頼があり、公衆衛生上の配慮を行う会場側とも相談して対策を講じて開催することを了承した。

### 2. 運営財政部会:総務委員会(緒方・亀高) <共催・後援依頼,他団体の募集等>

・日本地球化学会年会(オンライン大会:2020年11月頃)への共催依頼があり承諾した。

・第18回高校生・高専生科学技術チャレンジ(JSEC2020)(募集期間9/4-10/5)の後援名義使用を承諾した。

・新潟大学旭町学術資料展示館企画展示「ジオパークの微化石展」(開催期間:8/1-9/6)に対する後援申請を承諾した。

・藤原ナチュラルヒストリー振興財団シンポジウム(地質学会後援)開催中止の連絡があった。

・桜島・錦江湾ジオパーク学術推進員(会計年度任用職員)の募集(7/22締切)→geo-flash掲載

・令和2年度下北ジオパーク研究助成(7/22締切)→geo-flash,ニュース誌掲載

・第42回(令和2年度)沖縄研究奨励賞推薦応募(9/30締切,学会締切9/4)→geo-flash,ニュース誌掲載

・日本アイソトープ協会奨励賞候補者募集(10/30締切)→geo-flash,ニュース誌掲載

・第61回東レ科学技術賞および東レ科学技術研究助成の候補者推薦(10/9締切,学会締切9/4)→geo-flash,ニュース誌掲載

・「朝日賞」候補者推薦依頼(8/25締切,学会締切8/3)→geo-flash,ニュース誌掲載

・「原子力総合シンポジウム2020」(2020年9月WEB開催予定)に関する事前説明会(7/6,WEB会議)に担当として緒方理事が出席した。

・石油資源開発株式会社より役員就任の挨拶があった。(代表取締役会長 渡辺 修,代表取締役社長 藤田昌宏 ほか)

<会員>

#### 1) 今月の入会者(1名)

正会員(1名):井田貴史

#### 2) 今月の退会者(11名)

正会員(10名):北垣直貴・岡 智司・吉田鎮男・宮澤美幸・谷本真済・竹中夏子・三

鍋久雄・青木 南・劉 舒雨・田中 涉

正(院生割引)会員(1名):丁 望

#### 3) 今月の逝去者(正会員2名)

小林巖雄(逝去日2020年4月11日)・渡部吉和(逝去日2020年4月24日)

#### 4) 2020年6月末会員数

賛助:27, 名誉:45, 正会員:3371 [正会員:3287, 正(院割)会員:82, 正(学部割)会員:2]

合計 3443 (昨年比-81)

<会計>

・地学オリンピック協賛団体加入を承諾し、予算通り協賛金20万円を送金する。

<その他>

特になし

#### 3. 広報部会:広報委員会(坂口・小宮)

・JpGUオンライン展示を申し込み、事業内容やフォトコンテスト紹介を盛り込んだiPosterを作成した。

#### 4. 学術研究部会(辻森・ウォリス・星)

##### 1) 行事委員会(星)

・2021年の名古屋大会の日程について、名古屋大会LOCに土日祝での開始を願ひし、下記の通り日程候補が決定した(会場予約の都合により日程確定は来年1月)。

第1候補:9月5日(日)~7日(火)

第2候補:9月23日(木,秋分の日)~25日(土)

・名古屋大会の代替企画について→[審議事項へ]

##### 2) 専門部会連絡委員会(辻森)

##### 3) 国際交流委員会(ウォリス)

・モンゴル地質学会へMOU更新のため書面を近日発送予定。

##### 4) その他

特になし

##### 5. 編集出版部会(大藤・狩野)

###### 1) 地質学雑誌編集委員会(大藤)

・編集状況報告(7月5日現在)

2020年投稿論文:40 [内訳] 論説19(和文18・英文1), レター5(和文5), 総説1(和文1), ノート3(和文2, 英文1), 報告3(和文3), 口絵1(英文1), 巡検案内書8, 査読中:33, 受理済み:21(うち特集号9, 案内書2)

・126巻6月号(通常号) 論説2編, 報告2編(50頁, 発行済)。

・126巻7月号(名古屋巡検案内書) 案内書4編(約60頁, 校正中)

###### 2) アイランドアーク編集委員会(狩野)

・編集状況報告 昨年よりも投稿状況が改善され、査読プロセスが短縮化されてきたと報告された。この半年間のダウンロード数および被引用数の多い論文が紹介された。最新のインパクトファクターが1.655であり昨年から急増した。

##### 3) 企画出版委員会(小宮)

特になし

##### 6. 社会貢献部会(松田・矢部・高嶋)

###### 1) 地学教育委員会(高嶋)

・ジュニアセッション(デジタルポスター)

の実施概要が紹介された

##### 2) 地質技術者教育委員会(佐々木)

・名古屋大会順延に伴うJABEEシンポジウム代替企画について、7/9に委員会(zoom会議)を開催して検討した。

・ジオスクーリングネットワーク協議会の今年度の会合がコロナウィルスの関係で3月から延期していたが、このたび正式に中止となった。

・JABEE審査に関して、7/17に地球・資源分野の運営委員会が開催されることとなり、佐々木が出席する予定。

##### 3) 生涯教育委員会(矢部)

特になし

##### 4) その他

特になし

##### 7. ジオパーク支援委員会(平田)

・日本ジオパーク委員会より、「(仮称)日本ジオパーク地球科学評価機構」(コンソーシアム)の設置事前相談会議(7/20, WEB会議)への出席依頼があり、平田副会長が出席予定。

##### 8. 地学オリンピック支援委員会(高嶋)

・地学オリンピック日本委員会より問題作成者の推薦依頼があり、会員1名を推薦した。

##### 9. 地質災害委員会(松田)

・防災学術連携体のホームページに地質学会の令和2年7月豪雨関連情報の纏めサイトをリンクした。

以上

2020年8月1日

一般社団法人日本地質学会執行理事会  
会長(代表理事) 磯崎行雄  
署名人 執行理事 中澤 努